

平成23年3月30日
日本下水道事業団

東北地方太平洋沖地震に伴う災害復旧支援活動について（その4）

J S日本下水道事業団では、今回の東北地方太平洋沖地震による被災の重大性に鑑み、日本下水道事業団災害対策本部長代理である谷戸理事を、宮城県、仙台市、岩手県に派遣いたしました。

26日（土）に現地を訪れ、各州市の幹部と緊急の会談を行い、被災した下水道施設の今後の復旧対応について協議しました。

まず、宮城県庁において、宮城県阿武隈川下流流域下水道県南浄化センターの復旧等について、続いて仙台市役所において、仙台市南蒲生浄化センターの復旧等について協議を行い、その後、仙台市の下水道の基幹施設であり、今回の震災で大きく被災し、緊急な復旧が必要とされる、仙台市南蒲生浄化センターを訪れ、被害の状況を直接確認しています。

最後に岩手県庁を訪れ、岩手県内の被災市町村の下水道施設の復旧等について協議しました。

今回訪問した宮城県、仙台市、岩手県においては、下水道施設が甚大な被害を受けており、今後、災害復旧支援に向け、J Sとしてこれまで蓄積してきたノウハウを活用して、組織を挙げて取り組むことをお伝えしています。

【お問い合わせ先】

日本下水道事業団

経営企画部総務課広報室長 花輪 健二

TEL:03-6361-7808